

## 学生の印刷費負担の軽減について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2018年2月4日）

学生の印刷費負担の軽減について、ぜひともご検討いただきたくお願いいたします。

### (1) 生協等のコピー代金の大幅引き下げ

大学内の教職員向けの業務用コピー機の白黒コピー代金は、おそらく1円を大きく下回るものと推察されます。また、コンビニ等によっては、白黒であれば1枚5円でコピーできる店舗もあります。しかるに、学生が生協、図書館等でコピーする代金が1枚10円なのでしょうか。

教職員向けの業務用コピー機を大幅に増設して、学習・研究用のコピーは、学生も同一料金体系でコピーできるようにしていただきたいと思います。そばにいる教職員の方が学習用か否かチェックすればすむことです。それができない場合は、生協等の業者と交渉して少なくとも白黒コピー代1枚5円には引き下げていただきたいと思います。大学の外でさほど利用されていないコピー機が1枚5円で、毎日膨大な枚数をコピーしてフル稼働に近い大学内のコピー機が1枚10円というのは、機種等の優劣はあるにしても説明がつかないと思います。業者の言いなりで、まったく交渉していないと言わざるを得ません。1枚5円に引き下げられない理由があるのであれば、ご開示ください。

### (2) 図書館等での無料印刷枚数の拡大もしくは撤廃

最近の授業では、先生方が講義前にKULASISにレジュメ等をアップして下さり、それを事前に出力して紙面を授業に持参するよう指示されることが多くあります。また、演習など少人数の授業では学生が資料を用意する際にも資料を出力する必要があります。図書館等での現状の枚数は年間200枚に限定されていますが、これではとても足りません。例えば1,000枚まで増加する、あるいはシステム上の措置を講じて、教員が指示したレジュメであれば、出力枚数を無制限にするなどの対応をお願いします。時代はペーパーレス、と言われるかもしれませんが、紙面の方が書き込み可能など学習しやすいうえ、何よりも出力して持参することが先生方の指示となっておりますので、学生の負担をご配慮ください。

予算不足とのご回答が予想されますが、事前に教員の方でレジュメを用意される授業の場合は、毎回膨大な量のコピーが無駄になっているのが実情でありますし、いたずらにカラーコピーを多用していることも多く、大学側で経費削減の工夫をすれば、コスト面でも十分対応できると思われれます。

以上、よろしくご検討ください。

【回答】（回答日：2018年5月10日）

ご意見・ご要望をいただきありがとうございます。下記のとおり回答いたします。

（1）

（教育推進・学生支援部厚生課）

京大生協のコピー代金は、B5～A3までのコピー料金を統一して10円となっています。またコピーカードを利用の場合は、52度数500円、105度数1000円、320度数3000円、540度数5000円、1100度数10000円となっています。京大生協内にはコピー機を45台ほど設置していますが、ロケーションによっては、約150枚／月間～約7000枚／月間まで様々で、学生の利便性と学部の要請で配置しているものもあり、すべて同条件での稼働を前提にしています。経済理念だけで、不採算ロケーションを閉じていけば、もう少しコピー料金を下げることが可能かもしれませんが、組合員に等しくサービスを提供するため遠隔地の施設等においても同一の条件とすることを基本としている点についてご理解いただければと思います。値下げのご要望としてはお伝えしておりますが、1枚あたり5円にすることは現在の状況では事業継続が難しくなるということですのでご了承ください。

なおネットを介したプリントアウトサービスを4月から本格的に実施していますが、すべてモノクロ10円、カラー50円（共にB5からA3まで）での対応となっています。現在一部のコピー・プリントサービス機において学生証ICで決済出来るようになっていきます。この仕組みは1円単位での料金設定を行う事が可能な事から、ICカード対応機が全学的に普及対応出来れば、10円から値下げする事も検討されているとのことです。キャンパス内でのニーズは、各人のパソコンに入っているデータの印刷である場合が多く、京大生協のコピー機ではUSBプリントやネットプリントを取り入れており、ネットプリントの料金では、学外施設で同様のサービスを実施されている所よりは安く設定されています。

（2）

（情報環境機構）

平成30年3月から稼働した教育用コンピュータシステムでは、プリントサービスは廃止をいたしました。印刷環境を残さざるを得ない学部特有の事情がある場合については、部局で印刷環境を用意して頂くことになっています。

背景をご説明いたしますと、平成30年3月に稼働した教育用コンピュータシステムは、調達予算の大幅削減が求められる一方で、普通教室での持ち込みPCを使った授業のための仮想端末環境の新規導入、これまで国際高等教育院で購入運用されてきたCALL教室の端末の安定稼働のための置き換えなども併せて実現しなければならないという厳しい調達条件の中で、2年にわたり予め各学部からご意見をお聞かせ頂き、仕様を策定・稼働させました。その中で、プリントサービスの廃止については消耗品や人件費など運用上の必要経費、紙資源削減の環境配慮行動等も考慮して総合的に判断いたしました。

プリントサービスの廃止については、予め各学部にはお願いはしておりましたが、資料の印刷を学生に求める教員が居られるとのことですので、改めて各教員に学生に経費負担が発生していることのご理解を頂くよう努力いたします。

以上、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。